

親子聖書日課

NO.1561 2018.8/26-9/1 名前

[日]今、戦いに敗れ、約束の地に入れない民に対して、入った時の献げ物の規定を述べることは無意味ではありません。信仰とは、得たりと信じて生きることです。私達には、約束の地、天国が用意されていますから、天にこそ富を積みましょう。

[月]過失と故意の罪では、その罪の重さは違います。過失は贖いによって赦されますが、故意の罪は死に至ります。安息日と知りつつ薪を集めただけで殺されました。これくらいは主に従わなくてもいいと思うなら、共同体(教会)は破滅します。

[火]コラは全員で協議し、多数が賛成したことを行えと、民主主義を唱えているように見せかけて、実はモーセに代わって支配者になろうとしました。耳障りのよい言葉には注意しましょう。教会は、神が人を選ぶ「神主主義」を大切にします。

[水]コラとその仲間の最後は、悲惨でした。大地が足下から裂け、家族も財産も、死の世界に飲み込まれました。神の怒りと裁きが現れて、この反乱事件は収まりました。「主をないがしろにした」結末を知ったなら、主を第一にして生きましょう。

[木]とりなしの祈りは、行動を生み出します。アロンは疫病に取りつかれる危険がありながら、民の中を走って行き、贖いの儀式をしました。このとりなしがあったからこそ、民は救われました。「アロンの杖」とりなしの祈りは、いつか実を結びます。

[金]祭司は「聖所に関する罪責を負う」ほど重要な務めでした。彼らには生活に必要なものが一切与えられたので、憂いなく主のために働くことができました。今日の私達にも「祭司職が賜物として与えられました」から、自分を献げて、主に仕えましょう。

[土]民は収入の十分の一を献金として捧げて、幕屋に仕えるレビ人を支えたように、私達も十一献金に励むことによって、教会を支えます。十一献金は教会を支える屋台骨ですから、忠実に捧げましょう。誰かが十一献金を怠る時、教会財政は不足します。



	聖書	問題	答え
日	民数記 15:1-21	あなたたちも、寄留する者も何に従わなければなりませんか。	
月	15:22-41	安息日に何をしているところを見つけられた人は殺されましたか。	
火	16:1-15	分を越えていたのは、どちらでしたか。	
水	16:16-35	生きたまま陰府に落ちるならば、主をどうしていたことを知りましたか。	
木	17:1-26	何が芽を吹き、つぼみをつけ、花を咲かせ、実を結びましたか。	
金	17:27- 18:19	主は何を賜物として、あなたたちに与えますか	
土	18:20-32	何分の一を主にささげる奉納物とすべきですか。	
感想と祈りの課題			